



えんぶり

国立病院機構八戸病院

発行元:独立行政法人国立病院機構八戸病院
National Hospital Organization
Hachinohe National Hospital
〒031-0003 八戸市吹上3丁目13番1号
TEL 0178-45-6111 FAX 0178-43-7814
ホームページ
<http://www.hosp.go.jp/~hatinoh/>

平成30年2月発行 第64号



院長 薩藤 順

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては新しい年を迎える、つとがなくお過ごしのこととお慶び申し上げます。

思い返せば1年前（平成29年1月）の当院は、平成28年12月で退職した常勤医の補充ができなかったことから、医師充足率50%をわずかに越える状況を維持するのが精一杯でした。八戸市保健所の立ち入り検査では標欠状態からの脱却を最優先課題として指導されました。常勤医師確保のために方々を訪ねましたが同情はしてもらえたものの色よい返事は皆無のまま月日が流れて行きました。

事態が変わったのは夏になってからのことです。NHO北海道東北グループの方々の尽力と本部の医師派遣部署の肝いりで実施されることになった新たな医師派遣助成制度（医師充足率70%未満の施設への、充足率300%超え施設からの派遣；平日の日中のみ）が試行されることとなり、当院には北海道医療センターならびに大阪南医療センターから来て頂けることとなりました。お陰様で充足率70%越えが成立し11月から標欠はギリギリ解消できております。ただし金銭出納上は、入院基本料の減額分（年換算で8,000万円余りのところ、5か月分で3,300万円余りの增收となった一方で、当院からご本人ならびに所属施設に支払う金銭（給与の負担分、派遣協力費、旅費を含む）も概ね同額以上あり、『取り損ねた分を一旦当院にて徴収し、それを派遣元の施設に還元して赤字補填のために使用してもらい、NHO本部の会計に反映される』こととなりました。もちろん赤字覚悟で「NHO全体のためになるなら…、困ったときはお互い様…」と快諾させて頂いた経緯があります。

この制度がいつまで持続できるものなのか不詳ですが、来る4月には何とか常勤医1名を確保したいと考えていますので、『あと1人分の派遣をしばらくの間は継続して頂きたい』と切に願っております。

さて、平成30年4月は、診療報酬、介護報酬、福祉サービス等報酬の同時改定や療養介護サービス料経過措置の終了等がある節目の時にあたり、4月以降の対応に関して他施設の方と同様に悩ましい気持ちでおりました。幸い診療報酬介護報酬の大幅なダウンも無く、経過措置の終了は行われるかと思いきや療養介護サービス2.5対1はそのまま持ち越しとなりそうな情報も有りすこしホッとしております。

考えてみれば、八戸の地で慢性期患者さんを主体に政策医療としての障害者への医療と療養介護、福祉サービス（ベッド利用率99.5%）をおこなっている当院ができると言えば、障害者施設等入院基本料7:1を死守し続けることが、この先3年の最大の目標と考えています。

本年が院長としては手放しで喜べない日々の連続ではあると思いますが、努力して乗り切る所存ですので、皆さん応援して下さい。

最後に自戒の念も込めて、私を含む当院職員の皆さんに申しあげます。

- ・ 優しい医療人であれ、相手を思い遣れ
(患者さんに、ご家族に、職員の皆さんに、近隣の方々や自分の家族に)
- ・ 詭弁を弄するな、嘘をつくな
- ・ 自分の我が儘を他者に押しつけるな
- ・ 怒るな、興奮するな
(廊下で深呼吸してもう1回考えろ)
- ・ 変革を恐れるな

基本理念

私たちは
すべての患者さまとご家族に
信頼され満足していただける
確かな医療と生活支援を
めざしております

基本方針

- 一 病院組織の運営と地域における役割を果たします
- 二 患者さまの権利と安全の確保に努めます
- 三 療養環境と患者サービスに努めます
- 四 診療の質の確保に努めます
- 五 看護の適切な提供をいたします
- 六 病院運営管理の合理化に努めます

目次：

新年のご挨拶	1
院長 薩藤 順	
「楽しかった!?」親交会	
忘年会回顧	2
事務部長 小畠 孝志	
夜間想定「消防」訓練実施	3
専門職 猪股 透公	
「サンタさんがやってきた！」	3
保育士 猫塚 芳恵	
地域医療連携室からのお知らせ	4
外来担当医表	4
病院案内	4
編集後記	4



「楽しかった！？」親交会忘年会回顧



事務部長 小畠 孝志

12月18日(月)19時から、八戸パークホテルで恒例の親交会忘年会が開催され、会員に加え県立八戸第一養護学校の中村校長先生と佐藤教頭先生が参加していただきました。

院長先生の「挨拶は短く」のご配慮もあり、開始直後からおいしい料理とよ～く酔える(?)お酒を十分に堪能することができました。

座席は6～7名の円卓で、まずは左右の方へお酌、そして返杯、次は円卓内の方々へ、さらに次は隣の円卓へと、いろんな楽しいお話を交わしながら、また、注いで注がれて、いつの間にか自分の座席が分からなくなってしまうほど、楽しく酔わせていただきました。なお、忘年会中に失礼な言動がありましたら、この紙面をお借りし、お詫び申し上げます。

また、今回は幹事さんの計らいで、じゃんけん大会の余興があり、個人的には経理係の成田さんが勝ち取った「でっかい板チョコ」のその後が気になっています。

忘年会とは、一年の労をねぎらい、杯を酌み交わす宴だそうで、苦労の大きさが、忘年会の盛り上がりに大きく影響するのではないかと自己理論を唱えていますが、果たしてどうだったでしょうか。

最後に、忘年会実施にかかる幹事さんの御苦労に感謝申し上げるとともに(なお、幹事さんの労のねぎらいは後日実施させていただきました)、親交会の益々の発展を祈ってあります。



夜間想定「消防訓練」実施

専門職 猪股 透公

12月22日（金）14時から、深夜2時にA病棟衣類整理収納室より火災が発生した想定で、消火・通報・避難の総合消防訓練を実施しました。

出火した防火区画（病棟ナースステーション～西側）の限界時間は出火後9分間と推定されており、この時間内に初期消火を行うとともに32名の患者さんを深夜勤務者3名、当直看護師長、他の病棟からの応援者で避難させなければなりません。

参加した職員の方々は訓練に真剣に取り組まれ、想定時間を上回る時間内で訓練が終了したもの、避難誘導時に自動で閉鎖する防火扉の解放に戸惑ったり、通報が想定どおりに行えなかつたことなどが浮き彫りになりました。

特に夜間に火災が発生した場合には勤務者が少ないことから、訓練を重ねて有事に備えておく必要があります。

今後も、定期的に消防訓練を実施していきますので、引き続き職員の皆様のご協力をお願いいたします。

最後に、本訓練実施に当たり、患者さんやご家族の皆様のご協力に感謝申し上げます。



「サンタさんがやってきた！」

保育士 猫塚 芳恵

昨年12月13日にクリスマス会が行われました。患者様とその家族約140名の参加をして頂きました。フルートコンサートが行われ、「ムジカフィオーレ」男性2名、女性2名の方々に演奏をして頂きました。

クリスマソングや花は咲くなど演奏をしてくださいました。とても綺麗な音色に皆さんうつとりと聴き入っていました。知っている曲等口ずさむ方もあられました。短い時間ではありましたが、参加された皆さんのが癒しの時間となりました。

その後サンタクロースに扮した神田先生と第一養護学校教諭の嶋野先生が登場し、患者様1人1人にプレゼントを手渡されました。

一足早いクリスマスを親子で楽しむことができました。





地域医療連携室からのお知らせ

「冬の脱水症状にご用心」

連日の厳しい寒さ、インフルエンザやノロウィルスの大流行・・・
 ついつい室内に閉じこもってしまいがちですが、この季節は暖房や乾燥した空気など身体の水分を奪う要素が多く、脱水症状にも気をつけなくてはいけません。気づいたらフラフラで気分が悪くなったりという経験はありませんか。
 脱水症状を放っておくと、最悪の場合血管が詰まり、脳梗塞や心筋梗塞を発症してしまうかもしれません。
 たかが脱水症状と侮らず、こまめな水分補給と加湿を心がけましょう。



診療援助日程 3月

青森県立保健大学 リウマチ科
 渡部一郎教授 3月6日(火)、14日(水)、20日(火)、
 27日(火)
 東北大学 リハビリテーション科
 上月正博教授 なし
 東北大学 呼吸器外来
 山谷睦雄教授 3月13日(火)
 山形県立保健医療大学
 平山和美教授 なし

診療時間、日程等が変更になる場合があります。
 また次回以降については、地域医療連携室または
 ホームページにてご確認願います。

地域医療連携室 0178-45-3421
 医事課 0178-45-6111(内線)4301・4311

● ● 外来担当医表 ● ●

2月21日現在

診療科	月	火	水	木	金
内 科		閑田 陽子(月3回) 渡部 一郎(月2回)	蘭藤 順 (午前/予約)	関根 耕作(午前)	安ヶ平 みどり(午前)
神経内科	三須 建郎 (午前/予約)				
小児科		神田 進(午前)		神田 進 (午前・午後/予約)	
呼吸器外来					安ヶ平 みどり(午前)
リウマチ外来		リウマチ外来は下記診療援助日程のとおり。			

午前診療受付時間 8:30～11:00 午後診療受付時間 13:00～15:30 小児科外来 8:30～11:30
 ・ただし急患については受付いたします。・担当医師については変更されることがありますので電話にてご確認下さい。

病院案内図



*バス利用の場合

- JR本八戸駅より市営バス「是川団地行き」吹上栄町バス停より徒歩1分
- JR八戸駅より南部バスで「八戸駅線」乗車「三日町」降車市営バス「是川団地行き」吹上栄町バス停より徒歩1分

*タクシー利用の場合

- JR本八戸駅より10分
- JR八戸駅より20分

|編|集|後|記|

前回雪について書いた
 ら、今年は思いの外雪が
 少ないようだ。
 記録的な豪雪になつて
 いる地域を憂いつつ、八戸
 の地に感謝。

HS